

Date 二〇〇四年一月二日(金)～二月二十一日(水)

Hour 開館時間午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで) ※年中無休(但し展示換え期間を除く)

# イコノンの道

# 三南川 治郎展



【イエス・キリスト】  
13世紀 聖ソフィア大聖堂南側階上廊モザイク【イスタンブール(トルコ)】

**Admission 入館料**  
大人:1,000円 大学・短大・専門学校生.800円  
高校・中学生 500円 小学生以下 無料  
※割引回数券あり(4枚セット券3,000円)

- アートディレクション 長友啓典+K2
- 協力 富士写真フイルム株式会社、BLANCPAN

作家による作品説明。  
1月10日(土)、2月11日(水)、3月27日(土)  
各午後2時～3時

<http://www.s-minamikawa.com>

## paramitamuseum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園  
Tel 0593-91-1088 / Fax 0593-91-1077  
E-mail paramita@m3.cty-net.ne.jp

### By the car 車を利用される場合

- 名古屋方面から約40km
- 大阪方面から約200km
- 各方面の高速から東名阪自動車道・四日市I.C.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6km

### By the train 電車を利用される場合

- 名古屋方面から約60分(特急利用)
- 近鉄「名古屋駅」から名古屋線で約30分「四日市駅」下車近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園」下車西へ300m
- 大阪方面から約2時間30分(特急利用)
- 近鉄「難波駅」から大阪線で約2時間「四日市駅」下車近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園」下車西へ300m



<http://www.paramitamuseum.com>

神々しく輝く

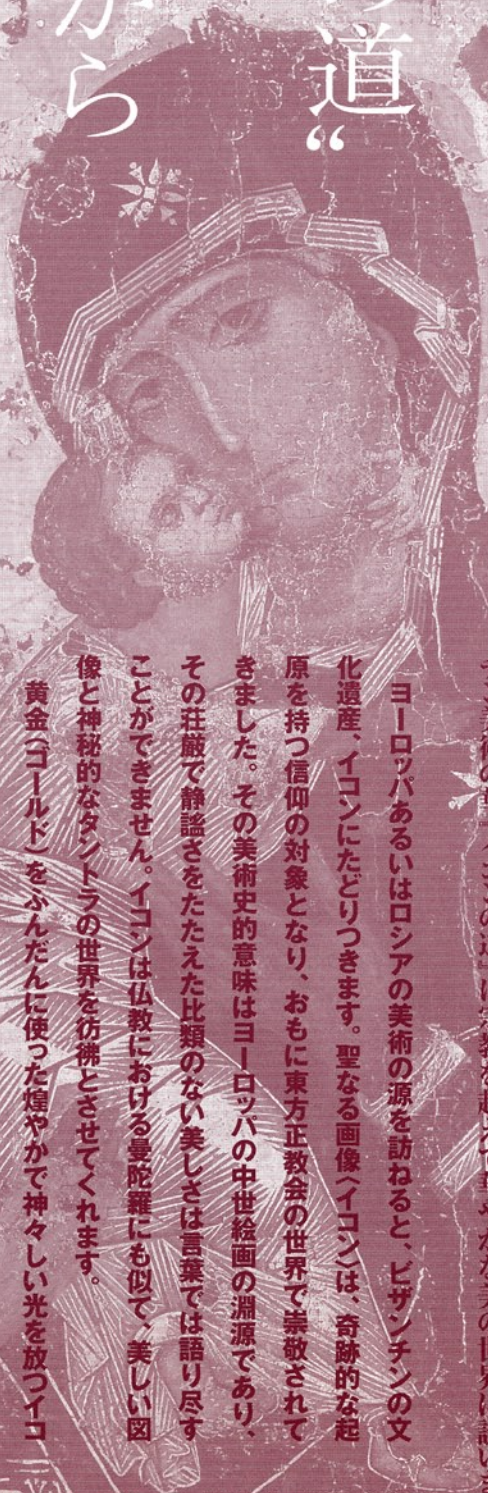
ビザンチンの華

”イコンの道“

地中海から

北海への

道をたどって



2004年に開館1周年を迎えるparamitamuseumでは、三重県出身でパリを拠点にヨーロッパの人と文化に焦点を当て取材活動を続け、日本はもとよりヨーロッパ、ニューヨークなどでも数々の作品を発表している南川三治郎の代表作「イコンの道」を開催します。

聖なる画像「イコンの道」は言葉や国境を超越した絵解きの聖書ともいえるでしょう。東方正教において崇敬されているイコンの伝播と変遷をたどった「イコンの道」は、地中海に花開いたビザンチン文化が北上して北海に至った道を辿り、各都市や村々に息づく美の世界をヴィジュアルにとらえたものです。

企画から20年の歳月をかけて南川三治郎が渾身の力を込めて撮り下ろしたビザンチン美術の華「イコンの道」は宗教を越えて華やかな美の世界に誘います。

ヨーロッパあるいはロシアの美術の源を訪ねると、ビザンチンの文化遺産、イコンのたどりつきます。聖なる画像（イコン）は、奇跡的な起源を持つ信仰の対象となり、おもに東方正教会の世界で崇敬されてきました。その美術史の意味はヨーロッパの中世絵画の淵源であり、その荘厳で静謐さをたたえた比類のない美しさは言葉では語り尽くすことができません。イコンは仏教における曼陀羅にも似て、美しい図像と神秘的なタंत्रトラの世界を彷彿とさせてくれます。

黄金（ゴールド）をふんだんに使った煌やかで神々しい光を放つイコンは、宗教を超えて魅惑的なビザンチンの美と精神世界に私たちが導きます。

イコンの発祥の地であるコンスタンチノープル（現在のトルコ）イスタンブルを振り出しに、東方正教の伝播に伴ってギリシャのアトス山、最古のイコンが現存するエジプトのシナイ山をはじめ、バルカン半島を北上しマケドニア、ブルガリア、ルーマニアを経てロシアに伝わり、北はロシアのサンクトペテルブルクまで、広大な地域に伝わって広がっていったイコンには、見る者に訴えかけてくる神秘的な世界があります。

二〇〇四年新春 南川三治郎

みなみかわ さんじろう (写真家) 1945年三重県生れ。東京写真大学卒業後、大宅壮一東京マスコミ塾第一期出校。パリを拠点にヨーロッパの“人と文化”に焦点を当てて取材活動をするフォトグラフィックライター。代表作に「アトリエの巨匠・100人」(新潮社)、「推理作家の発想工房」(文藝春秋)、「イコンの道」(ヴェルサイユ宮殿) (熱出版) などがあり、最新刊に「ヘルマン・ヘッセを旅する」(世界文化社)、「コッホを旅する」(世界文化社)がある。また「アトリエの巨匠・100人」、「ヴェルサイユ宮殿」などの個展が日本はもとよりニューヨーク、ウイーンなど海外でも多数開催されている。現在はパリと東京を年に数回往復し、旺盛な取材活動を展開している。'80年日本写真協会新人賞受賞、'86年日本写真協会年年度賞、'93年オーストリア政府観光局より名誉勲章ゴールド受賞、'96年コンフレイン・シュヴァリエドゥ・タスタワン就任。

【ウラディーミルの聖母】1131年頃、コンスタンチノープルで制作(レナッチョフ美術館蔵モスクワ(ロシア))